

27年度補正



有限会社山下製畳

様々な素材と新工法による新商品

「タタミマット」を用いた快適な生活空間の提供事業

本事業において、自社の高度な畳製造技術と鹿児島初導入となる畳用ホットプレス機を活用した新商品「タタミマット」の商品開発を行い、日本の伝統である畳製造技術を活用し、海外展開なども見据えた新たな市場開拓を実現する。



事業の背景と目的

これまでの畳は表面として使用できる素材に限られていた。しかし、畳床と表面の素材を接着させることにより、厚さやデザイン、機能性に優れた商品を製造でき、用途や販路の拡大が期待できる。今回の事業で、それらの技術やノウハウを活用し、快適な生活空間の提供を目的とした「タタミマット」の商品開発を行うこととした。

事業内容と成果

鹿児島初導入となる畳用ホットプレス機を導入し、自社の高度な畳製造技術とあわせ「タタミマット」の商品開発を行い、日本の伝統である畳製造技術を活用しつつ、海外展開なども見据えた新たな市場開拓に取り組める体制を整備した。設備の導入により、用途に合わせた畳床や表面素材、形状の選択肢が広がり、顧客ニーズに応えるとともに、市場開拓に取り組める体制が整った。



畳用ホットプレス機



框縫機



取材風景（山下専務）

事業取り組み後の成果

①これまで製造できなかった「タタミマット」が製品化できるようになった ②製品化により実際に顧客のニーズや使用感を聞けるようになり畳マットのさらなる用途開発の可能性が広がった ③想定顧客は個人や事業所で鹿児島県内の保育園2か所グループホーム1か所に納品できたことが挙げられる。

達成要因

①これまで加工できなかったものが設備導入により製品化できた ②事業実施者が大学で建築学科を専攻、建築設計やインテリアの素養があり、インテリア用品としての製品化ができた ③既存客約1,200件に向けて、試作サンプリングの製品PRを行い、顧客ニーズや要望を把握できたことが挙げられる。

今後の取り組み

①スポーツジムなどに「タタミマット（ヨガマット）」などの積極的な提案活動を行う ②新規客開拓のために展示会やイベントなどへの出品や試作品のサンプリングによるPR活動を図る ③最近、代替わりした若い職人への教育訓練などを通して新規事業の推進体制の強化・構築を図ることなどに取り組んでいく。

伝統的な工法を受け継ぎ、畳の新しいニーズによる新商品開発に挑戦



事業計画3年目に入り、今後はPR活動や販売活動に注力していく計画である。これまでは事業担当者1人で実施可能な試作開発の段階だったが、今後は受注活動による事業化段階へと進む。パートを含めて10名という人員体制、薩摩川内市と始良市に離れた事業場、既存事業との業務調整、代替わりした若い職人の教育訓練など、試作品製造、PR活動、販売、顧客フォローの綿密な実施スケジュールのもと着実に進めていきたい。

企業PR

当社は、地域密着型の畳店としての役割を担いつつ、伝統的な工法の確かな技術と新しい発想の商品開発によって、顧客ニーズにお応えします。

1948年 薩摩郡入来町（現在の薩摩川内市入来町）に個人創業

1979年 法人化

1990年 JIS規格認定工場となる

2016年 始良工場開設
現在に至る



事業者 有限会社山下製畳

代表者 代表取締役 山下 一朗

設立年月日 昭和54年12月24日

所在地等

〔本社〕 〒895-1402

鹿児島県薩摩川内市入来町浦之名7568

TEL 0995 (44) 2149 / FAX 0995 (44) 5060

〔工場〕 〒899-5231

鹿児島県始良市加治木町反土3174-1

〈URL〉 <http://ys-tatami.com/>

資本金額 700万円

従業員数 5名

業種 その他の製造業